

ひよこ通信

ひよこの会会報 令和2年1月号

発行 八千代心身障害児者父母の会(ひよこの会)
〒276-0044 千葉県八千代市萱田町542-81
電話 & Fax 047-450-9144
発行人 会長 吉野真里子、編集 会報編集委員会

◇あけましておめでとうございます、本年もどうぞよろしくお願ひ致します。

私たちは多様化が進む世界に身を置いています、それを直視せず、同質性が高く効率が良いことが善であるということに慣れてしまっていないでしょうか。よく平等じゃない、不公平だと声高な物言いを聞くことがあります。多様性にどう向き合えばいいのか悩むところです。参考になりそうな一文を見付けました。
「全国こども食堂支援センター・むすびえ」理事長 湯浅誠さんの発するところを一読下さい。

配慮し合い「ちょうどいい所」探そう

多様性には光と影があり、私は安易な礼賛は危険だと考えています。

一人ひとはパズルのピースのようなもので、凸と凹がある。そのことを認め合うことは良いことです。ただし、真四角ではないので、左右を入れ替えたなら、もうハマりません。多様性を認め合っている状態というのは、実はつながりにくい。放っておくと分断と細分化を招きます。実際に世界や日本社会では、そういうことが起きています。

それを象徴する要素が三つあると思っています。みんな違っていいけれど、「付き合えない」という「敬遠」、「そっとしておこう」という「遠慮」、そして主にネットの世界で見られる「攻撃」です。

こうしたことを克服するには「インクルージョン」が大事だと思います。日本語に訳しにくい言葉です

社会活動家 湯浅誠さん

が、私は「配慮」という言葉を当てています。

兄には障害がありました。子どものとき、車いすの兄も入って友達と草野球をしたのですが、兄が打者のときは投手が3歩前で、下手でボールを投げるというルールに行き着きました。5歩前でも、上手投げでも駄目なんです。

みんなで「ちょうどいい所」を探す。そこにあったのは、配慮です。

インクルージョンとは、多様な人たちとつながろうという意味を持ち、そのつながり方を積み重ねていくことです。対話し、配慮し合う体験と芽は誰にもあります。これからの時代、その芽を育てて広げていくことが、私たちが取り組むべき課題だと思います。

本稿は、朝日新聞(2020/1/7)「耕論(多様性って何だ)」からの転載です。

◇これからの予定

- ・1/20(月) きょうされん物品販売(バレンタインチョコ)申込締切り
- ・1/25(土)、10:00-15:30 千葉県障害者グループホーム大会(千葉市)/第11回
- ・1/28(火)、10:00-12:00 ライフサポートファイル書こう会(八千代)/第16回
- ・2/2(日)、8:00-12:00 市役所フリマ(八千代 遊・友・バザール)
- ・2/6(木)、10:00-12:00 ライフサポートファイル書こう会(香取市)/第62回
- ・2/8(土)、9:30-10:00 資源回収
- ・2/19(水)、10:00-15:00 イオン販売(緑が丘)
- ・2/22(土)~23(日) スキー一泊旅行(志賀高原)

◇1月度の収益事業の報告

no.	日時	収益事業	収入(円)	担当
1	10/4(金)~12/27(木)	きょうされん物品販売(冬) *	63,916	庄司見恵美子/村井朱美/島田玲美/その他
2	12/14(土)、9:30-10:00	資源回収	1,444	濱田涼子/細井美香/瀬古勝子/青木敏則/ 上野和美/佐藤紀子
3	1/11(土)、9:30-10:00	資源回収	2,101	青木敏則/青木俊一/細井美香/瀬古勝子/ 濱田涼子/坂根結巳/酒匂美砂/酒匂美玖
4	1/12(日)、8:00-11:30	市役所フリマ(運営)	41,000	白柳厚/西村均/吉野康生
5	1/16(木)、10:00-15:00	イオン販売(緑が丘)	4,100	吉野純子/松田ヒナ子/岸川志歩

*仕入れ代等の原価分を除いた利益を示す

八千代心身障害児者父母の会(ひよこの会)

◇令和元年、年末の大掃除

その昔「すす払い」といわれていた年末の大掃除。皆様のご家庭でもお忙しい思いをされたことと思います。写真はにじと風での風景です。

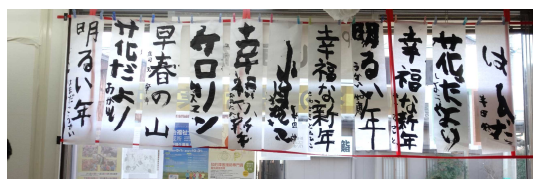
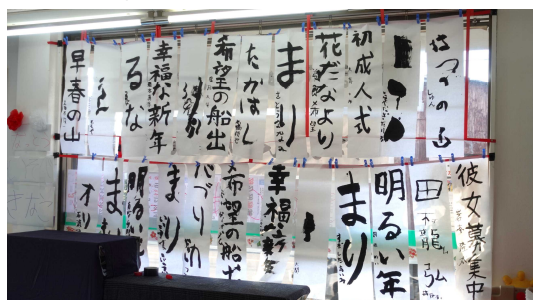


◇令和2年、恒例の新春もちつき大会・書初め大会の様子

令和2年1月11日(土)、11:00-15:00、天候に恵まれ、令和最初の行事を楽しみました。



書初めの力作が揃いました



◇編集後記

今年もどうぞよろしくお願い致します。今年こそは、…、今年こそは、さて。 (吉野康生記)